

令和 6 年

ふれあい通信

第 2 号

2 月 19 日



令和5年中

高齢者の交通事故の特徴

県内の交通事故発生状況

発生件数 2767件 (前年比-95件)、死者数 43人 (前年比+5人)、負傷者数 3375人 (前年比-224人)

高齢者の事故

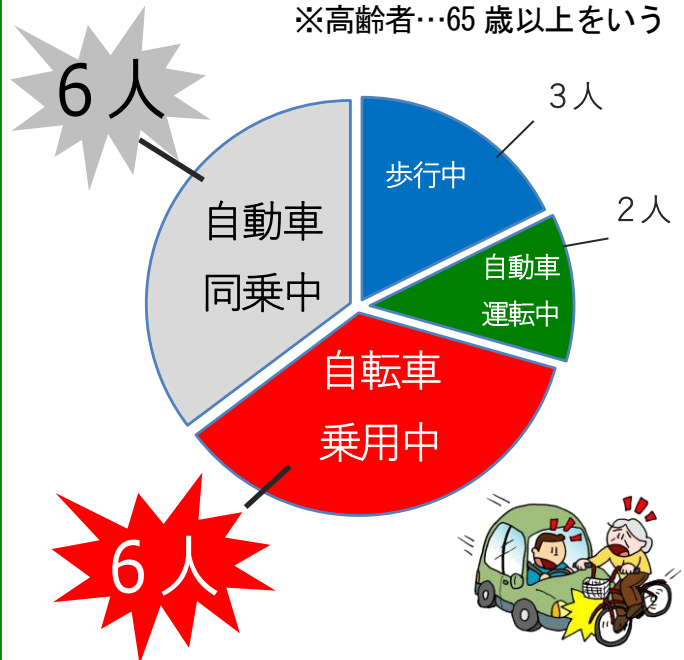
発生件数 895件 (前年比-1件)
死者数 17人 (前年比-6人)
負傷者数 434人 (前年比-7人)

▼死亡事故の特徴▼

- ※ 交通事故死者43人中、高齢者は17人で約4割を占めています。
- ※ 自転車乗用中と自動車同乗中が6人と最も多くなっています。
- ※ 昨年最も多かった歩行中の事故は、前年比-7人と大幅に減少しました。

～高齢者交通死亡事故状態別～

※高齢者…65歳以上をいう



「ごんごんしゃり方よし」

01 / ヘルメットよし！

自転車に乗るときは、ヘルメットを着用する

02 / ライトよし！

夜間はライトを点灯するとともに、反射材を活用し、自分を目立たせる工夫をする

03 / 確認よし！

交差点では、信号と一時停止を守って、十分な安全確認をする

新入学（園）児と高齢者の交通事故防止運動

令和6年3月15日(金)～4月15日(月)

運動の重点

- ① 通学路・園外活動の経路における安全な通行の確保
- ② 新入学(園)児と保護者に対する交通安全教育・指導の徹底
- ③ 高齢者の交通事故防止と安全運転意識の向上
- ④ 横断歩道利用者ファースト運動の推進

★新入学（園）児の交通事故防止★

子ども（中学生以下）が被害となる交通事故の約5割は、自宅付近で発生しています。

また、事故時の状況では、歩行中は飛び出しが多く、自転車乗用中は交差点通行時が多く発生しています。

運転者の皆さんは、学校・幼稚園・公園など子どもの行き来が予想される場所を通行するときやひとり歩きの子どもの見かけたときは、徐行や一時停止をして子どもの動きに注意して運転しましょう。

★高齢者の交通事故防止★

夜間に高齢の歩行者が被害に遭う交通事故が多いことから、いち早く歩行者等を発見するために先行車や対向車がないときは、こまめにハイビームに切り替えて運転しましょう。

高齢者マークの車に対しては、幅寄せや割り込みなどはせず思いやりの気持ちをもって運転



しましょう。

★横断歩道利用者ファースト運動の推進★

横断歩道は歩行者優先です。

信号機のない横断歩道の手前には「横断歩道あり」の路面標示（ダイヤマーク）や道路標識が設置されています。

これらが見えたら、歩行者等の有無をしっかりと確認しましょう。歩行者等が横断しようとしているときは、横断歩道の手前で一時停止して、歩行者に道をゆずりましょう。また、歩行者の方は、手をあげるなどして横断する意思表示をしましょう。

施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム

TEL 077-522-1231（代表） Eメール x0022@police.pref.shiga.jp